

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集

公表：2021年1月20日

アンケート期間：2020年11月6日～11月30日

事業所名 児童発達支援たんぽぽ・放課後等デイあさがお 保護者等数(児童数)17人、回収数14 割合 82%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86%	14%		昨年新園舎に引っ越しました。トイレも広く、3回までのエレベーターがあります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	8%	看護師の複数配置及び管理栄養士の配置を希望する。	児童発達支援管理責任者1名、児童指導員3名 内保育士2名 自発管1名その他の職員を配置 人数は子どもの数により5人から8人、ほぼ1対1体制をとっています。今年度は医療的ケアが必要なため、看護師を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%		新園舎の設計については、保護者の方の意見を聞き反映しています。エレベーターを設置し、毎日利用しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	100%			家庭でもなく学校でもない、最も開放的になるのが放課後等デイサービスです。好きなこと好きなものを見つけて、じっくりあそび時間にします。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	100%			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%	お迎えが遅い利用者の負担増は少し気の毒に思う。	デイの平日の利用時間は18時です。19時近くのお迎えの子もいるため職員を配置しています。開所時間を延ばすと、昼間の職員配置が難しくなります。ご理解ください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%		父母会に参加できなくて申し訳ない。	今年度はコロナで保護者同士が集まる機会をもてませんでした。保護者同士の交流は子育てをするうえで大切です。コロナであっても、交流がもてるように工夫します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%		今年はコロナの関係で仕方ないが、名簿が配られないので誰がいるのか全く分からなかった。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	86%	14%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		トラブル等何かあると常に説明・報告してくれるので助かる。	保護者の意見要望をいつでもいえる雰囲気大切にします。子どもとおしりのつながりやかかわりを大切にしています。これからもその様子を、丁寧に伝えていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		〇〇の日新聞はとていいい。	ホームページは定期的に更新しています。今年度の自己評価は12月公表予定です。〇〇の日は、その子が主人公となりその子の好きなことをやる日です。その取り組みに友だちが加わりあそびます。その様子を新聞を作成してお知らせしています。どの子にとっても、うれしくて待ち遠しい日になっています。
14 個人情報に十分注意しているか	100%			書庫にはかぎをかけています。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	78%	22%	一年に一度か二度に一度のペースで、新しいものを配ってもらえればと思う。	年に一度新しいものを配布し説明するようにします。特に学校へ迎えに行っている途中で災害が起きた時の対応については、個別に確認します。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%	14%		毎月避難訓練は実施しています。今年はその時の様子を写真で撮影してニュースにしてお知らせしました。契約時の説明やモニタリングの時に避難訓練の予定や実施状況をお知らせするようにします。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	86%	14%	重度の障害があるが、楽しい場である様子は、とても伝わってくる。	今年度はコロナのため利用の自粛が広がり、利用が少し減っています。特に高学年は減っています。そこで、いつもにもまして誰もが楽しいと思える企画を立て実施しています。これからも、楽しい放課後になるように工夫します。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%		高学年になるにつれ、友だちが減ってくるので、少しつまらなそうかも。。	また、学校と家庭とつながることで子どもの姿がよく見えてきます。関係機関との連携をしながら、豊かな放課後をうくります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に依りて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。